

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曽路.com 情報発信拡充事業
事業主体 (連絡先)	木曽観光連盟 (0264-23-1122)
事業区分	6 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,341,668円 (うち支援金: 2,673,000円)

事業内容

木曽観光連盟が運営するホームページ「木曽路.com」内にコラム記事の掲載を行い、「木曽に行ってみよう」と思えるような具体的な記事の掲載による情報発信を行った。

- ①日本語版ホームページにコラム記事枠の設置
 - ・木曽路.com トップページにコラム記事掲載枠を設置
 - ・コラム記事掲載をレスポンス対応化
- ②コラム記事4本(四季に合わせ)掲載
 - ・来訪の動機づけとなる記事
 - ・木曽を知らない潜在層に訴求する記事
- ③木曽路.comの認知拡大を目指すための広告配信
 - ・木曽路.com トップページおよび関連ページへの誘導のためのWEB広告(Google、Facebook、Instagram)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①四季ごとに木曽地域を紹介するコラム作成にあたり動向調査を行い、効果的な誘客につながるデータの把握により、木曽の魅力を発信することができ、誘客へとつながった。
- ②閲覧地域の把握により、国内観光客の動向から誘客エリアを絞り情報発信につながった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

コラム枠設置、コラム配信の整備により、一般の方にも体験型コラムなどを掲載していく。また、英語版コラムの掲載も検討していく。



【コラム記事(秋)】

【目標・ねらい】

- ①木曽を知らない人が「木曽に行ってみようと思える記事の掲載
- ②WEB広告の配信によるどのエリアからの反応の検証

※自己評価【C】

【理由】

客層・体験型コラム等により木曽の魅力を発信することができたが、コロナ禍による誘客数の増加、商品造成までには至らなかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある